

みんなでかんさつ隊 定例観察会 「真夏の夜の夢、セミの変身を見よう！」

日時／平成 29 年 7 月 22 日(土)

場所／鶴見緑地公園 天候／薄曇り

スタッフ／5 名

参加者／大人 30 名、子供 28 名 合計 58 名

観察内容／今年は 7 月初めからクマゼミが鳴き出し、羽化真っ盛りの中での観察会となりました。親子連れだけでなく祖父母と御両親、お孫さんの 3 世代参加もありました。



まずは、アブラゼミが鳴く中、スタッフによる「セミ太郎の一生」の紙芝居を上演。暗くなってから、抜け殻集め用のビニル袋と懐中電灯を持って観察会場の花の谷に移動。木に登る幼虫、静止している幼虫、背中が割れ出した幼虫、殻から抜け出そうとイナバウアー



をしている幼虫、羽を伸ばした幼虫など、羽化の全ての段階を見ることが出来ました。中には連れてきた子供そっちのけで夢中になって観察して下さった御夫婦もおられました。

8 時半ごろに、抜け殻調べのため、いのちの塔に戻りました。スタッフ指導のもと、各自が集めた抜け殻をセミの種類と雄雌別に分類し、牛乳パックで作った入れ物に入れて、お土産として持って帰ってもらいました。抜け殻はクマゼミが主でしたが、アブラゼミの抜け殻も多く見つけられました。また、当日採集したセミの産卵跡のある枯れ枝に事前に水をかけておいておいたところ、1 齢幼虫が多数孵化しました。参加者の皆さんは顕微鏡下で、懸命に足を動かさず幼虫に興味深げにのぞきこんでおられました。

